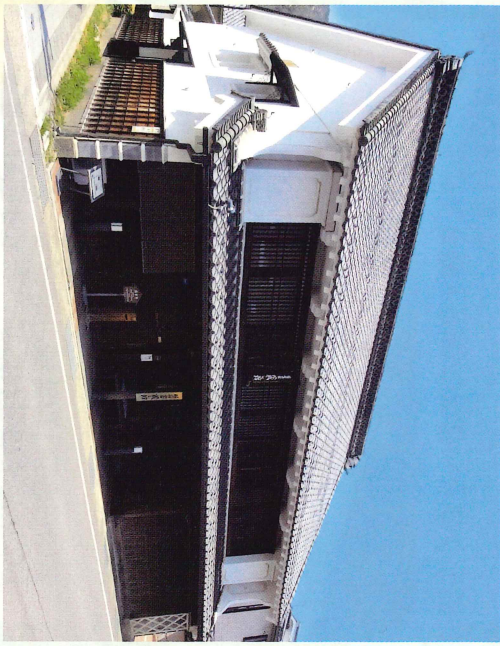
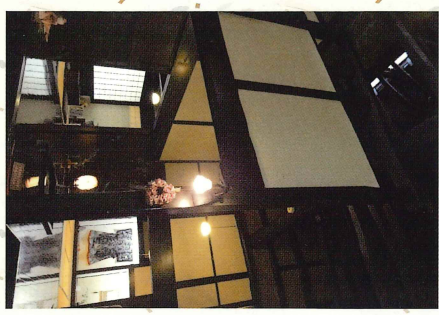


稲荷山宿・蔵し館



幕末から明治期にかけて「商いに国境なし」という「稲荷山魂」を説き生糸輸出の先駆者となった「カネヤマ松源製糸」の松林源之助・源九郎が築いた「松林邸」を修復・再生したものです。

主屋



街道に面して頑丈な大戸とぐい戸が設けられ土間に続きます。土間右手の部屋がオタナ(店)で南の奥に先端でした。その奥に居間と中座敷、奥座敷が続きます。二階は商品の保管室、遠来の客の接待、宿泊、宴会場、奉公人部屋などさまざまな機能を持っていました。

主屋は古い町屋の生活空間を再現しています。西側にある土蔵(資料館)は「くらしの資料館」としてかつての稲荷山の生業や生活の様子を物語る民族的資料を多数展示しています。

土蔵 (資料館)



かつては商品の保存蔵で、南北に階段が設けられ階段吹き抜け穴が広くとられています。二階吹き抜けの上には大きな滑車を取り付けられ商品の出し入れが頻繁に行われていたことを示しています。



千曲市稲荷山のご紹介

16世紀末、上杉景勝が千曲川の氾濫原であった葦藪に稲荷山城を築き、町割をして人々を住ませた事に始まる町といわれます。やがて市がたちち在郷町が形成されます。更に街道や宿場機能の整備によって北国西往還(善光寺街道)の宿場町として発展します。幕末には生糸輸出の活況から繭・生糸の集散場として商業地となりましたが鉄道の発達を機に漸次衰退の道をたどります。しかし、現在も町のあちこちに繁栄をきわめた頃の土蔵造の町屋や、生活用水として町中を縦横に巡らせた水路・水濠の跡をみることができます。

平成26年12月10日に千曲市稲荷山は重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。

Inariyamajuku Kurashikan

The Inariyamajuku Kurashikan is a restoration of the former Matsubayashi residence. The small door, or *kugurido*, of the white-washed *daozazukuri*-style main building facing the road leads into the earthen-floored *dona*. To the right lies the *otana*, for displaying wares; towards the back are the *ima*, or living room, the *nakazashiki*, and the *okazashiki*, or semi-formal and formal reception rooms respectively. The second floor was multi-functional, and was used to store merchandise and to entertain guests visiting from afar. The storehouse use through the garden at the far end of the property has been renovated into a museum which displays a variety of items that date back to the thriving times in *Inariyama*.



千曲市

稲荷山宿・蔵し館

ふる里漫画館

アートまちかど

〒387-0007 千曲市大字屋代 2176-2
TEL・FAX 026-272-4152
アートまちかど

〒387-0021 千曲市大字稲荷山 2181-1
TEL・FAX 026-273-5639
ふる里漫画館

〒387-0021 千曲市大字稲荷山 931
TEL・FAX 026-272-2726
稲荷山宿・蔵し館



案内図



ご案内

開館時間
午前 9 時～午後 4 時 30 分

観覧料
一般 300円(240円)
高校生 150円(120円)
中学生以下無料
()内は、20人以上の団体料金
※ただし、企画展等特別料金を設定
させていただきます。

休館日
月曜日 (祝日の場合開館)
祝日の翌日
年末年始(12月29日～1月3日)

駐車場
普通車 10 台
普通車 15 台
普通車 10 台
アートまちかど
ふる里漫画館
稲荷山宿・蔵し館
※バスの駐車については各館にお問い合わせください

アートまちかど

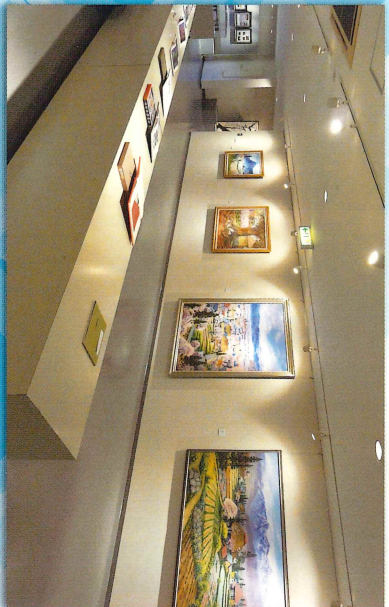
千曲市アートまちかどは市民の皆様をはじめ多くの方々に美術を親しんでいただくための施設です。

1階には三つの創作室と市民ギャラリーがあり、絵画や陶芸、彫刻などサークル活動と発表の場として活用いただけます。

2階は美術作品を鑑賞する展示室(美術館)として、郷土にゆかりのある作家の絵画・書・版画・陶芸・工芸などの常設展示のほか、多彩な企画展を開催しております。



アートまちかど正面玄関



2階作品展示室

創作室

1階には3つの創作室があります。活動の内容に応じて、ご利用ください。

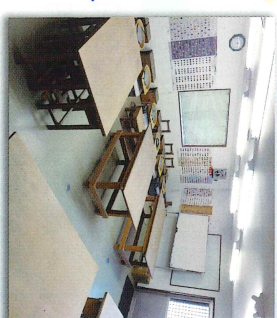
第1創作室

65㎡の洋室で講義、絵画、書道等利用できます。長机、椅子、石膏像、イーゼルを備えています。講義の場合概ね30人以下が適当です。



第2創作室

50㎡の洋室で陶芸、彫刻等にご利用できます。作業台、ろくろ(電動・手動)、水道、整理棚等を備えています。



第3創作室

30㎡の洋室。卓上織機、長机を備えています。



■創作室利用方法

利用時間 9:00~22:00
利用料 1時間につき150円
(部屋代は前納、付帯設備は後納)
申込方法 事前にアートまちかど事務室でお申し込みください。
受付時間 9:00~16:30まで

市民ギャラリー

75㎡の洋室。各種発表の場としてお使いいただけます。展示パネル・吊り具なども利用いただけます。



展示例

■市民ギャラリー利用方法

利用時間 9:00~16:30
利用料 原則として無料
申込方法 事前にアートまちかど事務室でお申し込みください。
受付時間 9:00~16:30まで

ふる里漫画館



白壁の家並みが美しい蔵の町稲荷山。その一郭に建つ重厚な蔵造り風の建物が漫画館です。

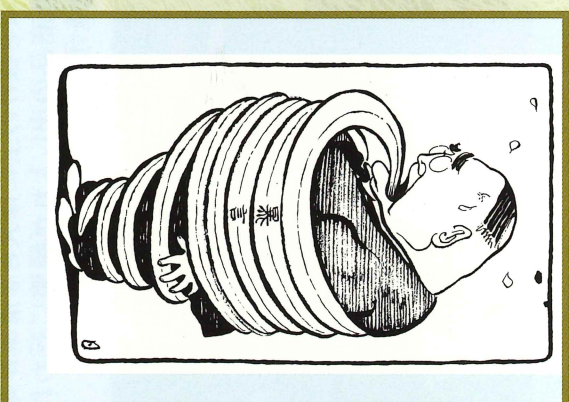
1階は近藤日出造の世界

漫画で政治を大衆に近づけた政治漫画の第一人者として、世界的に有名な「近藤日出造」は稲荷山の出身です。
常設展示室には、数多くの日出造作品と日出造が実際に仕事で使っていた机などを展示しています。

また、近藤日出造門下で、読売新聞や大相撲錦絵で活躍している松林モトキ(当市出身)の作品も展示しています。

2階は楽しい漫画の世界

訪れた皆さんを夢と創造の世界へと導く空間がここにあります。
図書室には、楽しい漫画本がいっぱいです。4000冊を超える新旧名作漫画をご自由にご覧ください。



近藤日出造「舌」



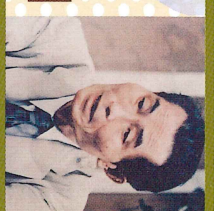
近藤日出造記念館



二階図書室風景

世界的漫画家

「近藤日出造」



近藤日出造は明治41年2月15日、長野県更級郡稲荷山町(現・千曲市大字稲荷山)で、父・三津蔵(洋品雑貨店主)母・くめの二男として生まれる。(本名・秀蔵)

稲荷山尋常高等小学校を卒業後、昭和3年(20歳)漫画家を志望し上京する。当時の人気漫画家「岡本一平」の弟子となり修業する。

昭和7年 無名の漫画家を中心に、「新漫画派集団」を結成する。
昭和8年 読売新聞社に入社する。昭和51年1月に倒れるまで、政治漫画・似顔絵・座談会の司会等を行う。
昭和15年 新日本漫画家協会を設立し、高級月刊誌「漫画」を発行する。この本から立派な漫画家がたくさん育つ。
昭和39年 日本漫画家協会初代理事長に就任する。
昭和40年 「東京デザインカレッジ」の理事に就任し、新たに漫画科を創設する。この学校から若く優秀な漫画家が続々と生まれる。
昭和49年 紫綬褒章を受章する。
昭和50年 菊池寛賞を受賞する。
昭和54年 3月、71歳で亡くなるまで、漫画の質的向上、漫画家の地位向上に一生を捧げた偉大な漫画家。